

編集後記

『一般言語学論叢』の21号をお届けします。今号は、梶茂樹氏よりご寄稿いただきました。詳しい経緯は割愛しますが、なんやかんやあって結果として、こちらで掲載できる運びとなりました。私としては、とにかく公刊できたことでほっとしております。筑波一般言語関係者が調査していない言語に関する内容ですので、老眼になっても視野が広がる契機となりました。また、久しぶりに院生からの投稿があり、継続の甲斐があったかと思っております。昨今の課程博士事情を鑑みると学会誌に一直線という指導体制なので、もちろん悪いことではないのですが、紙幅に制約がある学会誌で書き尽くせないものを書くための別の機会というのは必要かと思っております。そういった環境を生かして、研究ノートでは日本語のパラトグラムに関する資料が150ページ分公開されました。これまでの中で最も多いページ数となりましたが、今号から紙媒体を取りやめたため、財政が困窮せずに助かっております。

最後になりましたが、快く査読を引き受けてくださった査読者の方々、編集作業に協力してくださった編集委員の方々に、この場を借りて深く感謝の意を表します。

(F.T.)

一般言語学論叢 第21号

編集委員：福盛貴弘（編集長）・宇都木昭・山田久就

2018年12月31日発行

発行者 筑波一般言語学研究会（代表 池田潤）

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学大学院人文社会科学研究科文芸・言語専攻

池田潤研究室気付

Tel/Fax: 029-853-4410

E-mail: ikedajun.fm@u.tsukuba.ac.jp

URL: <http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~ippan/JGL/>
